変額保険
グローバルミックス

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

月次運用レポート

2017年10月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エクスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式　50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 （特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社　ALM＆特別勘定運用部が行います。）	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A） 〈適格機関投資家私募〉	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B） 〈適格機関投資家私募〉	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A） 〈適格機関投資家私募〉	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A） 〈適格機関投資家私募〉	
債券　50%		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B） 〈適格機関投資家私募〉	

※　特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※　特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2017年10月]

【日本株式市場】

TOPIX（東証株価指数）は上昇し、前月末比＋5.45%の1,765.96ポイントで終えました。月前半は好調な経済指標などを背景とした米国株式市場の上昇、衆議院選挙につき与党優勢との報道などから上昇基調で推移しました。月後半は米国議会において2018会計年度の予算決議案が可決され、税制改革への道程が前進したこと、衆議院選挙で与党が勝利したことで各種の政策が継続されるとの安心感などから、引き続き上昇基調で推移しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇し、NYダウ工業株30種は前月末比＋4.34%の23,377.24ドルで終えました。ISM（供給管理協会）製造業景況感指数などの好調な経済指標、幅広い業種で好調な決算発表が相次いだこと、2018会計年度の予算決議案が可決され税制改革への道程が前進したことなどから上昇基調をたどりました。

欧州株式市場は、前月末比、独DAX指数＋3.12%、仏CAC40指数＋3.25%、英FTSE100指数＋1.63%と上昇しました。ECB（欧州中央銀行）理事会で資産買い入れの縮小が決定されたものの、ECBの金融緩和策解除に対する慎重姿勢が確認されたこと、ユーロ安が進行したことなどから、特に独DAX指数、仏CAC40指数は月後半にかけて上昇しました。

【日本債券市場】

10年国債の金利は概ね横ばいで、月末には0.065%となりました（前月末0.060%）。月前半は日銀による国債買い入れの資金供給オペレーションの結果を受けて、債券市場の好需給が意識されたことなどから低下しました。その後は米国長期金利の上昇などを背景に上昇基調で推移しましたが、月末には衆議院選挙で与党が勝利したことで、日銀の金融緩和政策が継続されるとの観測が高まったことなどから、上昇幅は限定的となり、月間では概ね横ばいとなりました。

【外国債券市場】

米国債券市場では10年国債の金利は上昇（価格は低下）し、月末には2.379%となりました（前月末2.334%）。月中にかけて米国において消費者物価指数が事前予想を下回ったことなどから、金利は一時低下しました。しかし、その後は米国株式市場の上昇、米国において税制改革への道程が前進したことなどから上昇基調をたどりました。月末には、FRB（米連邦準備制度理事会）の次期議長として金融引き締めに慎重な候補が有力との報道があったことなどから上昇は限定的となりました。

欧州債券市場では独10年国債の金利は低下（価格は上昇）し、月末には0.363%となりました（前月末0.464%）。月中にかけてスペインにおけるカタルーニャ州独立問題や、オーストリア下院選挙で反難民を掲げる中道右派政党が第1党となったことなどを背景に低下しました。その後、米国長期金利の上昇に連れて上昇する場面があったものの、ECB理事会で資産買い入れの縮小決定と同時に、ECBの金融緩和策解除に対する慎重姿勢が確認されたことなどから、月末にかけて再び低下しました。

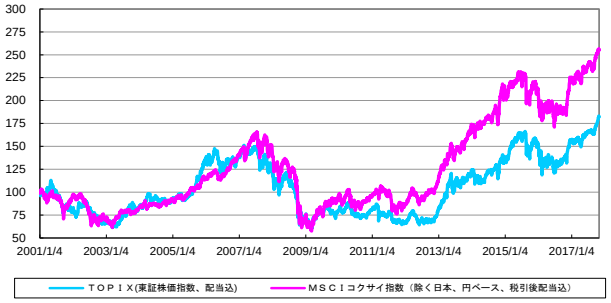
【外国為替市場】

米ドル/円相場は円安米ドル高となり、月末は前月末比＋0.43円の113.16円となりました。月前半は米国長期金利の低下などを背景として、小幅に円高米ドル安で推移しました。月後半は米国株式市場の上昇、米国の税制改革への期待などから米国長期金利が上昇に転じ、為替も円安米ドル高に転じました。月末には、FRBの次期議長に関する報道などを背景に再び円高米ドル安に転じましたが、月を通しては円安米ドル高で終えました。

ユーロ/円相場は円高ユーロ安となり、月末は前月末比▲1.09円の131.76円となりました。月前半から後半にかけてはECB要人による金融引き締めの姿勢や、カタルーニャ州独立問題、オーストリア下院選挙の結果などとの間で揉み合いました。その後、月末にかけてはECB理事会で資産買い入れの縮小決定と同時に、ECBの金融緩和策解除に対する慎重姿勢が確認されたことなどからユーロは売られました。

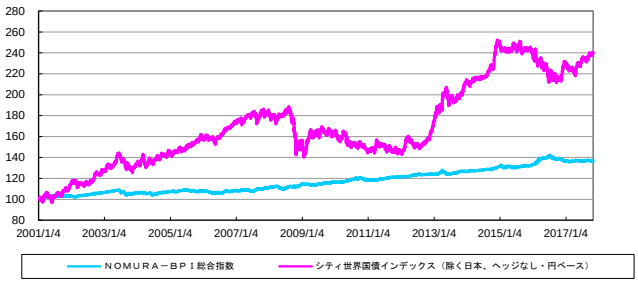
日本と外国の株式市場の推移

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

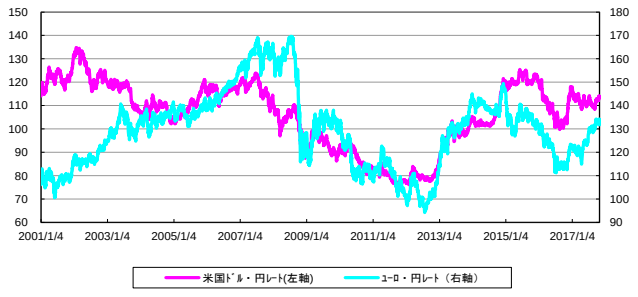


日本と外国の債券市場の推移

＊下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

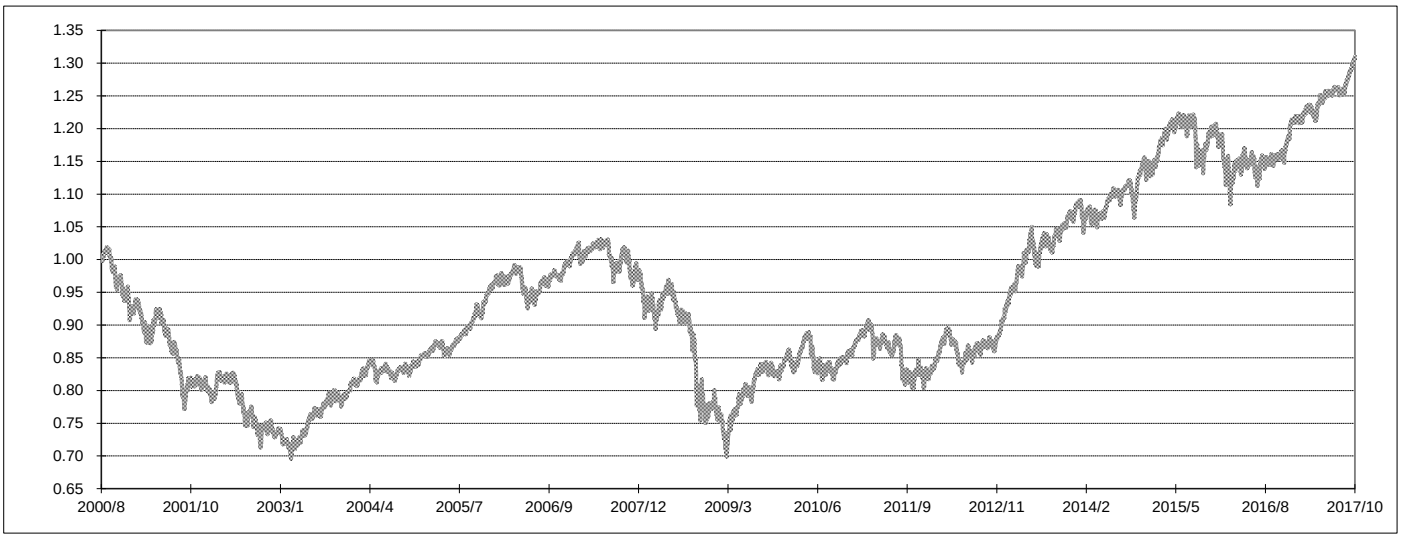
変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 ［ 2017年10月 末日現在 ］

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2017年10月末	2017年9月末	2017年8月末	2017年7月末	2017年6月末	2017年5月末
INDEX	1.308	1.281	1.259	1.258	1.251	1.246
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率（%）	2.16	3.97	5.91	12.15	17.40	30.85

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1．00として計算しています。
※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目		金額（千円）	比率（%）
現預金・その他		1,946,889	4.0
その他有価証券		46,256,746	96.0
	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）	5,551,465	11.5
	アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）	7,835,315	16.3
	アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）	7,354,145	15.3
	アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）	4,451,209	9.2
	アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）	21,064,612	43.7
合計		48,203,636	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。
※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当月のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。
資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。（株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。）
今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

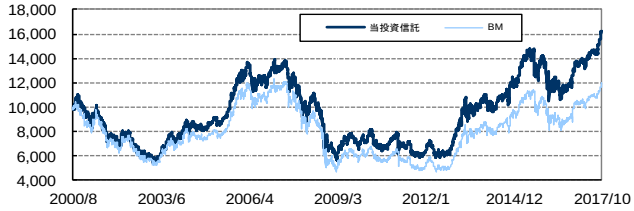
変額保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況

［ 2017年10月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	5.68%	11.15%	17.43%	31.27%	41.09%	61.75%
BM	5.45%	9.10%	15.29%	26.77%	32.42%	19.11%
差	0.24%	2.04%	2.14%	4.50%	8.68%	42.64%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年8月3日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）*1です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 業種別構成比率

	業種	マザーファンド
1	電気機器	16.25%
2	輸送用機器	9.10%
3	小売業	7.84%
4	化学	7.62%
5	情報・通信業	7.41%
6	銀行業	7.20%
7	建設業	4.25%
8	医薬品	4.23%
9	その他業種	34.69%
10	現金等	1.40%
合計		100.00%

○ 市場別構成比率

	市場	マザーファンド
1	東京証券取引所第一部	98.60%
2	現金等	1.40%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	業種	マザーファンド
1	トヨタ自動車	輸送用機器	2.93%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.93%
3	日立製作所	電気機器	1.73%
4	武田薬品工業	医薬品	1.69%
5	ソニー	電気機器	1.50%
6	日本電信電話	情報・通信業	1.39%
7	伊藤忠商事	卸売業	1.32%
8	ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.30%
9	オリックス	その他金融業	1.23%
10	三菱ケミカルホールディングス	化学	1.19%
合計			17.20%
組入銘柄数			278銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋5．68%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比＋5．45%となりました。当月の日本株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたITハードウェアが上昇したことや少なめに保有していた通信が下落したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたクレディセゾン（8253）や平和（6412）が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していたDDホールディングス（3073）ややまや（9994）が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。
・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

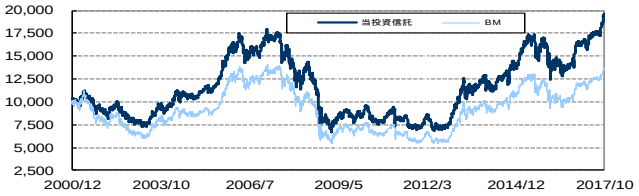
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2017年10月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	6.22%	11.44%	17.47%	32.72%	46.84%	95.58%
BM	5.45%	9.10%	15.29%	26.77%	32.42%	36.97%
差	0.77%	2.34%	2.18%	5.95%	14.43%	58.61%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数（TOPIX）[*1]です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○　業種別構成比率

	業種	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ
1	電気機器	19.56%
2	輸送用機器	8.97%
3	小売業	8.53%
4	情報・通信業	8.51%
5	化学	8.42%
6	銀行業	7.53%
7	医薬品	3.86%
8	卸売業	3.65%
9	その他業種	29.34%
10	現金等	1.62%
合計		100.00%

○　市場別構成比率

	市場	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ
1	東京証券取引所第一部	94.52%
2	その他の市場	2.62%
3	ジャスダック証券取引所	0.62%
4	東京証券取引所第二部	0.61%
5	名古屋証券取引所第一部	0.01%
6	現金等	1.62%
合計		100.00%

○　組入上位10銘柄

	銘柄	業種	ﾏｻﾞｰﾌｧﾝﾄﾞ
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.35%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	2.50%
3	本田技研工業	輸送用機器	2.38%
4	ソニー	電気機器	2.31%
5	KDDI	情報・通信業	2.21%
6	武田薬品工業	医薬品	2.06%
7	日立製作所	電気機器	2.03%
8	キヤノン	電気機器	2.01%
9	三菱電機	電気機器	1.95%
10	キーエンス	電気機器	1.79%
合計			22.59%
組入銘柄数			170銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋6．22%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）の騰落率は、前月末比＋5．45%となりました。当月の日本株式市場は、配当利回りの高い銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたITハードウェアが上昇したことや少なめに保有していた輸送が下落したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた東ソー（4042）が下落したことや少なめに保有していた信越化学工業（4063）が上昇したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していたSUMCO（3436）や東京エレクトロン（8035）が上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル（定量分析）を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。　　・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

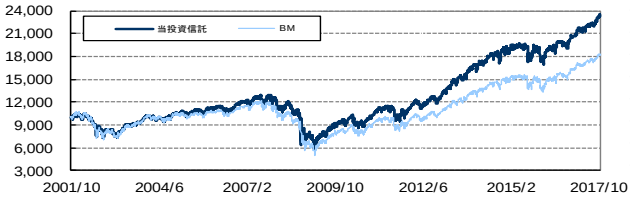
変額保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況

［ 2017年10月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	2.69%	4.58%	7.99%	21.04%	27.50%	134.07%
BM	2.35%	3.64%	6.83%	19.06%	24.95%	82.23%
差	0.34%	0.94%	1.16%	1.98%	2.55%	51.84%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数*2
（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド（A） 〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	ソフトウェア・サービス	15.81%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	9.56%
3	半導体・半導体製造装置	6.33%
4	資本財	5.87%
5	テクノロジー・ハードウェア	5.74%
6	ヘルスケア機器・サービス	5.66%
7	銀行	5.10%
8	各種金融	4.99%
9	その他業種	39.86%
10	現金等	1.09%
	合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	3.76%
2	ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.80%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.41%
4	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.85%
5	PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.75%
6	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.68%
7	AMAZON.COM INC.	アメリカ	小売	1.63%
8	AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	1.58%
9	JPMORGAN CHASE & CO.	アメリカ	銀行	1.50%
10	ORACLE CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.48%
	合計			20.44%
	組入銘柄数			218銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋2．69%となりました。一方、ベンチマークであるS＆P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は、前月末比＋2．35%となりました。当月の米国株式市場は、企業規模の大きい銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたITハードウェアやソフトウェアが上昇したことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた電気通信サービスのAT＆T INC．が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた半導体・半導体製造装置のINTEL CORPが上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。
・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

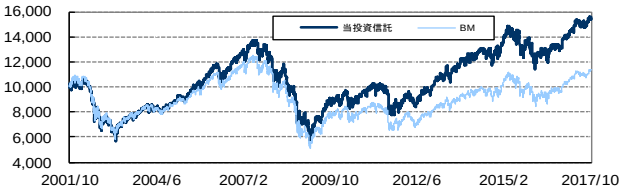
【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額保険
特別勘定の月次運用レポート （2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉の運用状況　［ 2017年10月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※　投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を10，000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	1.66%	3.77%	4.71%	16.47%	25.67%	55.47%
BM	2.40%	4.13%	4.09%	15.61%	21.21%	13.75%
差	▲0.74%	▲0.36%	0.62%	0.86%	4.46%	41.72%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2001年10月16日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
　また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数[*3]
　（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの／円ベース）です。

■利用する投資信託について

【投資信託名】　アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド（A）〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】　アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】
マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」（バリュー株）を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※　当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 国別構成比率

	国名	マザーファンド
1	イギリス	23.23%
2	フランス	17.14%
3	ドイツ	16.67%
4	スイス	12.83%
5	スペイン	5.89%
6	オランダ	5.13%
7	スウェーデン	4.82%
8	デンマーク	3.28%
9	その他の国	9.78%
10	現金等	1.23%
合計		100.00%

○ セクター別構成比率

	セクター	マザーファンド
1	銀行	10.53%
2	資本財	10.14%
3	医薬品・バイオテクノ・ライフ	9.21%
4	素材	8.99%
5	保険	7.69%
6	電気通信サービス	6.84%
7	エネルギー	6.20%
8	食品・飲料・タバコ	5.85%
9	その他業種	33.32%
10	現金等	1.23%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.55%
2	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	2.24%
3	BASF SE	ドイツ	素材	2.11%
4	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.06%
5	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	1.93%
6	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.65%
7	ZURICH INSURANCE GROUP AG	スイス	保険	1.64%
8	ROYAL DUTCH SHELL PLC-A SHS	イギリス	エネルギー	1.60%
9	BANCO SANTANDER SA	スペイン	銀行	1.49%
10	TELEFONICA SA	スペイン	電気通信サービス	1.48%
合計				18.74%
組入銘柄数				174銘柄

※　上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋1．66%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）の騰落率は前月末比＋2．40%となりました。当月の欧州株式市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた航空機が上昇したことや少なめに保有していた医薬品が下落したことはプラスに寄与しました。国別では上昇したドイツの銘柄を多めに保有していたことはプラスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた運輸のLUFTHANSA　AG（ドイツ）が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンスのROCHE　HOLDING　AG（スイス）が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル（定量分析）等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※　将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。
・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

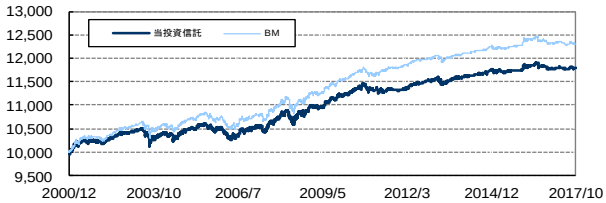
変額保険
特別勘定の月次運用レポート（2017年10月）

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B）〈適格機関投資家私募〉の運用状況

［ 2017年10月 末日現在 ］

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を10，000として指数化しています。

■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド（B） 〈適格機関投資家私募〉
【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券マザー・ファンド受益証券〈適格機関投資家私募〉に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.03%	0.12%	▲0.14%	▲0.29%	0.82%	17.90%
BM	0.05%	0.13%	▲0.28%	▲0.46%	1.01%	23.14%
差	▲0.02%	▲0.02%	0.14%	0.17%	▲0.19%	▲5.24%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日（2000年12月21日）の前日を起点として計算しています。
※ 投資信託の騰落率は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。
※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。
ベンチマークは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合（3-7年）インデックス*4です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.27 年	98.87%
国債	4.52 年	60.60%
地方債	0.00 年	0.00%
特殊債・財投債	7.44 年	9.87%
金融債	0.00 年	0.00%
社債等	2.65 年	28.41%
その他	0.00 年	0.00%
短期資産等*	0.00 年	1.13%
合計	4.22 年	100.00%

＊ 債券先物を含みます。

※ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

○ 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	7.50%
A	86.52%
BBB	5.98%
BB以下（無格付含）	0.00%
合計	100.00%

格付基準：
※ 海外格付機関の格付を優先します。
※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

○ 組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付 ムーディーズ	格付 S&P	マザーファンド
1	第324回利付国債（10年）	日本	0.800%	2022年6月20日	A1	A+	12.21%
2	第312回利付国債（10年）	日本	1.200%	2020年12月20日	A1	A+	9.50%
3	第311回利付国債（10年）	日本	0.800%	2020年9月20日	A1	A+	5.71%
4	第313回利付国債（10年）	日本	1.300%	2021年3月20日	A1	A+	5.46%
5	第127回利付国債（5年）	日本	0.100%	2021年3月20日	A1	A+	5.25%
6	第322回利付国債（10年）	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	A+	4.53%
7	第５２回地方公共団体金融機構債券	日本	0.831%	2023年9月28日	A1	A+	4.53%
8	第３９回政府保証株式会社日本政策投資銀行	日本	0.145%	2027年3月15日	A1	A	4.34%
9	第341回利付国債（10年）	日本	0.300%	2025年12月20日	A1	A+	4.23%
10	第328回利付国債（10年）	日本	0.600%	2023年3月20日	A1	A+	3.60%
合計							59.38%
組入銘柄数							42銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

○ ポートフォリオの状況

	マザーファンド
平均複利利回り	0.05%
平均クーポン	0.83%
平均残存期間	4.31

※ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比＋0．03%、一方、ベンチマークであるブルームバーグ・バークレイズ・日本総合（3－7年）インデックスは前月末比＋0．05%となりました。当月の当投資信託は前月からの戦略を維持しましたが、ベンチマークを下回る結果となりました。米国長期金利が小幅の上昇にとどまったことや、日本の衆院選で与党が圧勝し政治情勢が安定したこと等から、当月末の日本10年国債の利回りは前月からほぼ横ばいの0．065%となりました。
委託会社は、日銀の量的金融緩和策を背景にして、日本国債利回りは誘導目標程度のレンジ圏で推移すると予想しています。今後の当投資信託の方針として、デュレーション戦略ではベンチマーク対比短めとし、種別戦略ではベンチマーク対比での国債の少なめの配分と非国債の多めの配分を維持する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。
・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先： カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

変額保険

用語説明

＊1「東証株価指数（TOPIX）」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数（TOPIX）は、株式会社東京証券取引所（以下㈱東京証券取引所）の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は㈱東京証券取引所が有しています。
㈱東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

＊2「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利は
スタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、S&P500種株価指数（米ドルベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊3「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数（為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの）は、MSCI欧州株価指数（現地通貨ベース）に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。

＊4 ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標および
サービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・日本総合（3-7年）インデックスに対する
一切の独占的権利を有しています。

注意事項

〇変額保険の仕組み
変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。
*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

〇変額保険のリスクについて
①市場リスク
特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額（有期型の場合、満期保険金を含む）や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク
万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】
アクサ生命保険株式会社
お問合せ先：　カスタマーサービスセンター
Tel 0120-568-093
アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/